

# 吉備医師会

## ワクチンで救われた命について知っていますか？

戦前の小児感染症について(1934年内務省衛生局編集)

### 麻疹

全死亡数 11,122人 5歳までの死亡数 10,372人(93%)

### 百日咳

全死亡数 11,440人 5歳までの死亡数 11,161人(97%)

### ジフテリア

全死亡数 4,410人 5歳までの死亡数 3,349人(76%)

### インフルエンザ

全死亡数 9,669人 5歳までの死亡数 4,083人(42%)

1934年の総人口はおよそ6700万人、  
ワクチンのなかった時代です。

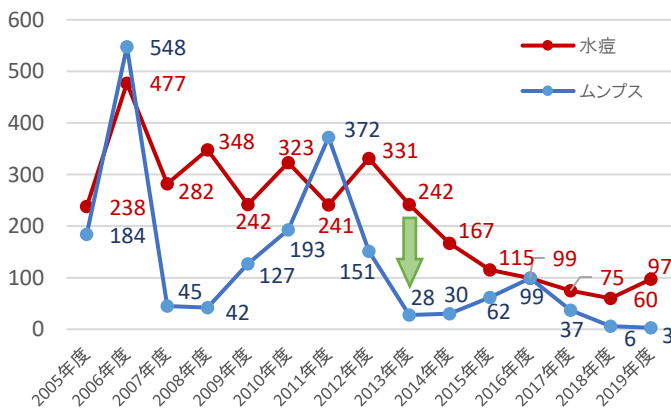
5歳以下の子どもたちが麻疹で1万人、  
百日咳で1万人以上亡くなっています。  
ワクチンがあれば救えた命です。

### 吉備医師会小児科医の会の主要感染症の報告数

年度	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
麻疹	0	0	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
風しん	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水痘	238	477	282	348	242	323	241	331	242	167	115	99	75	60	97
ムンプス	184	548	45	42	127	193	372	151	28	30	62	99	37	6	3

麻疹、風しんの報告は2009年度以後ありません。  
麻疹・風しん混合ワクチンの接種率は1期・2期とも95%以上あります。日本では麻疹の流行はありませんが、世界では、コロナの流行でワクチン接種率が下がり、麻疹が流行して、多くの子どもたちが亡くなっています。

### 総社市内でのムンプス・水痘の報告数



水痘とムンプス(おたふくかぜ)ワクチンの接種率は30%~40%でした。2013年度より総社市独自の助成制度でワクチン接種率上昇し、著明に減少しています。さらに2014年10月より水痘が定期接種になりました。2018年度の水痘ワクチン1回目の接種率は92%、ムンプスワクチン1回接種率は87%でした。

幼児の病気であった、水痘とムンプスはほぼ見かけなくなりました。ワクチン接種のおかげで、麻疹、風しんが大人の病気になったように、水痘、ムンプスも大人の病気になっていくと思います。



ワクチンで予防できる病気(VPD)はワクチンで予防しましょう。感染対策をきちんとしています。心配することなく、接種できる年齢になったら、すぐにワクチンを接種しましょう。

### KNOW★VPD VPDを知って、子どもを守ろう

<https://www.know-vpd.jp/>



### みんなパピ! みんなで知ろう HPV プロジェクト

<https://minpapi.jp/mission/>



### ワクチンの種類(★は任意接種)

0ヶ月からできるもの	B型肝炎ワクチン BCGワクチン(結核)
6週間からできるもの	ロタウイルスワクチン(2020年10月より定期)
2ヶ月からできるもの	小児用肺炎球菌ワクチン ヒブワクチン
3ヶ月からできるもの	四種混合ワクチン (百日せき ジフテリア 破傷風 ポリオ)
6ヶ月からできるもの	日本脳炎ワクチン ★インフルエンザワクチン
1歳からできるもの	麻疹風しん混合(MR)ワクチン みずぼうそう(水痘)ワクチン ★おたふくかぜワクチン ★A型肝炎ワクチン
11歳からできるもの	二種混合ワクチン(ジフテリア 破傷風)
小学6年生からできるもの	HPV(子宮頸がん)ワクチン

# 新型コロナウイルス感染症



総社市でも12歳以上の方のワクチン接種が進んでいます。2月24日現在、2回接種率が88%、追加接種率38%です。オミクロン株に対して、ワクチンの感染予防効果は低下していますが、追加接種による重症予防効果はそれほど低下していません。かかっても軽いかぜ症状の方が増えています。かぜかなと思っても休んで経過をみてください。無理して登校したり会社に行くと、クラスや職場で感染をひろげます。

感染予防対策によりインフルエンザの流行は2シーズンありませんでした。しかしコロナの流行は続いています。まだ、コロナは「ただのかぜ」と言えませんが、ワクチンや治療薬の進歩により「ただのかぜ」になる日が近づいています。もうしばらく、感染予防対策を続けましょう。子どもたちは本当にがんばっています。



## 症状は

かぜやインフルエンザと似ています。発症してから1週間程度はかぜのような軽い症状が続きます。

約8割の方はそのまま治りますが、残りの約2割の方が、症状が悪化して入院となります。小児は、軽症で無症状のことが多く、重症化することはまれです。また、ほとんどが大人からの感染です。しかし、オミクロン株の影響で小児の感染者は増えており、入院が必要となる方もいます。

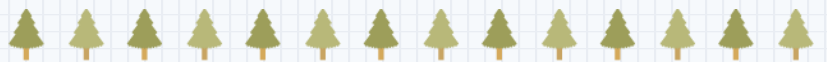
## 感染予防対策

- ① かかったかなと思ったら、休む  
周囲に広げない
- ② 出来るだけ不織布マスクを着用する  
2歳以下にはマスクはおすすめしません。
- ③ 三密を避ける。(密集・密接・密閉)  
特に換気が大切です。
- ④ 正しい手洗いをしましょう。  
食事の前、トイレの後、帰宅した時など
- ⑤ できる人はワクチン接種をしましょう。  
12歳以上の方

## 5歳から11歳に対するコロナワクチンについて

- 総社市では、5～11歳の小児への新型コロナウイルスワクチンの接種について、現時点では強く推奨する段階に至っていません。
- 接種を希望する場合、メリットとデメリットについて十分に理解し、かかりつけ医ともよく相談をして接種を受けてください。
- 基礎疾患のある小児は、重症化予防のため、かかりつけ医と相談しながら接種を受けることをおすすめします。
- こどもたちの日常生活を守るため、大人へワクチン接種や感染対策を呼びかけていきます。

令和4年2月 総社市 吉備医師会



## 吉備医師会 小児科医の会 (あいうえお順)

- ① 医療法人清音クリニック 上田 美子  
総社市清音三因 606-1 電話 0866-94-4111 <https://kiyone-clinic.jp/>
- ② 医療法人高杉会 高杉こどもクリニック 高杉 尚志 菊本 健一  
総社市井手 585-1 電話 0866-94-8839 <https://takasugi-kodomo.com/>
- ③ 医療法人真周会 三宅内科小児科医院 三宅 真砂子  
総社市井手 919 電話 0866-93-8511 <https://miyakenaika.com/>
- ④ 医療法人 やまもと医院 山本 裕子  
総社市三輪 618 電話 0866-93-7773



健診もきちんと受けましょう。病気の時だけでなく、生活や発達について気になること、心配なこと、なんでも相談して下さい。必要があれば、他の機関や病院などと連携をとって対応していきます。